
140文字物語

烏丸はるか

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

140文字物語

【Nコード】

N1917N

【作者名】

烏丸はるか

【あらすじ】

ツイッターの文字数制限を使った練習SS。

話に繋がりは無い。はず。

愛しい人(前書き)

惜しみなく与える愛。

愛しい人

好きだった人。

彼女はいつも不思議な匂いを漂わせていた。

僕はその匂いを嗅ぐたびにいつも腹の底が重くなるような感覚を感じていた。

好きだったが知り合い以上にはなれぬまま僕はじきに彼女じゃない人を抱いた。

全てが終わって気付いた。

隣に寝ている彼女からあの日の君と同じ匂いがしていた事に。恋の終わりを知った。

愛しい人。

今日は何をしよう？ 二人で料理しようか。

手の込んだ料理が良い。一日かかるシチューとか。君とずっと居られるならどんな料理でも良い。

おや？ シチューはもう出来ていたのか。君は本当に優しいね。

さあ一緒に食べよう。でもおかしいな、君の姿がない。

そうか記念のケーキでも買いに行っただね。

愛されていた人。

ドアを開けた瞬間すえた臭いが鼻を突く。

部下の警官に入り口で待機してるよう指示すると中に入る。

異臭に耐えながらゴミしかないとしか思えない室内を行くと、一箇所だけ全く別の空間を見つけた。

磨き上げられた金属テーブル。その上には被害者と思われる少女の入ったホルマリン水槽が飾られていた。

認めなかった人（前書き）

時に人は認められない事を認めない。

認めなかった人

拒否する人

「誰でもやっつてるよ」

そして彼は悪びれなく言葉を続けた。

「僕からしたら少し機転を利かすだけでこんなに大きな収穫と恩恵を得られるのに、最初から無い秩序を頑なに守ろうとする君の方が理解できないよ、偽善者」

だが僕も譲らない。

「それでも僕は他人より肥えて生きるより奪わず飢えて死ぬ方が良い」

拒絶された人

「無理、無理無理！ もう無理なの！」

彼女は俺の姿を見るなり取り乱し、人目を憚らず地面に崩れ落ちた。

「お願いだ、話を……」

「話を聞いてくれなかったのは貴方でしょ！」

彼女はそう金切り声を上げて俺の言葉を遮ると、半狂乱で走り去っていった。

残された俺は絶望的な顔で立ち尽くすしかなかった。

認めなかった人

セミが鳴いてる。

薄汚い納屋の床に転がったまま耳を澄ます。視界はもう真っ暗だが、聴覚は生きているらしい。

五月蠅いとは思うが眠れないほどじゃない。

意識が音も無く広がる水の中に沈んでいくのを感じ、小さく笑う。

どんなに君が僕を拒んでも、こんなにも混ざり合っている。

これからはずっと一緒だよ。

愛のひととき（前書き）

時に愛は存在の壁を超える。多分擬人化。

愛のひとつき

仔猫の時間（猫×フェネック）

「ふふっ、くすぐりたいよ」

キヤーに耳を甘噛みされ、フェーはもどかしげに身を擦った。
キヤーは楽しげにひたすら耳の後ろに鼻先を押しつけている。

「まいったな。フェネックの僕が自分より小さな仔猫に勝てやしな
い」

困った笑みを浮かべるフェーにキヤーは言った。

「じゃあ仔猫のふりもやめようか？」

親子の時間（猫×鼠）

「ねえねえおかあさん。僕はどうしてからだがおおきくならないの
？」

「さあ？ その内大きくなるんじゃない？」

「どうして、僕の尻尾はふさふさしてないの？」

「きつと子供だからよ」

「ねずみってなに？」

「さあ？ お母さんには良く分からないわね。こっちいらっしやい
毛繕いしてあげる」

「はあい」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1917n/>

140文字物語

2011年10月7日21時41分発行